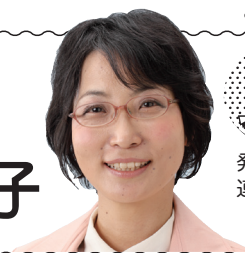


日本共産党

高槻市議員

きよた 純子



2016年8月9日
NO. 53

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子
連絡先：議員団控室
TEL072-674-7230 FAX072-674-3202
上本町3-25 TEL/FAX. 676-5068

高齢者福祉専門分科会（7月7日）

来年4月から要支援のサービスが市の「総合事業」へ移行

国が進める「介護予防・日常生活支援総合事業（以後総合事業）」は、要支援1、2の訪問介護と通所介護を介護保険から外し、市町村に丸投げするものです。総合事業は「現行相当サービス」と「緩和した基準のサービス」に分けられます。「現行相当サービス」は、身体介護が必要な人、通所介護では入浴・食事が必要な人は、今まで通り同じサービスが受けられ、利用料金も変わりません。来年3月末時点で、要支援の人は4月から「総合事業」へそれぞれの認定更新時期に合わせて移行していきます（2018年3月末完全移行）。

「緩和した基準」のサービスの担い手は訪問型サービスはNPOやシルバー人材センター、通所型サービスはNPOや民間事業所などを想定しています。介護ヘルパーは家事代行だけでなく認知症など状態の変化に気づき、介護計画の見直しや医師による対応につなげていきます。私は分科会で、市として、国

に必要な介護サービスを提供する責任を果たすこと、要支援者を総合事業へ移行させることはやめるよう要望することを求めました。

今後のスケジュール（予定）

- 8月 事業素案の事業者向け説明会
- 9月 市議会の福祉企業委員会協議会に事業案を報告・事業内容の確定
- 10月 事業所向け事業内容説明
- 12月 介護予防ケアマネジメントマニュアル作成
介護予防ケアマネジメント研修
- 1月 総合事業の指定事業所申請受付
- 2月 要支援者へ総合事業についての通知を送付
- 3月 総合事業について広報掲載
- 4月 総合事業開始

山村硝子跡地（芝生町1丁目）に大規模物流施設が建設される

野村不動産がマルチテナント型物流施設「(仮称) Landport (ランドポート) 高槻」を建設するとしています。

事業内容（来年5月完成予定）

近隣自治会に配られた資料によれば、開発面積は約3万5千㎡、ほぼ甲子園球場グラウンド3個分。延べ床面積は約8万6千㎡、5階建てで、各階の倉庫に10トントラックやトラクター、コンテナ車が直接付けられるプ

ラットホームが設けられるのが特徴です。貸し倉庫を借りた企業などが品物を運び込み、必要に応じて運び出す仕組みです。

野村不動産のホームページ（4月7日付け）を見ると、各階に22台計110台分を備えているとのこと。貸し倉庫のテナント募集はすでに始まっています。出入りするトラックの台数予測についてはテナントが決まらな

いとわからないとのこと。作業時間に規制はなく、24時間稼働します。府道16号線（バス道路）の総合体育館寄り図書館前に車両の出入り口が作られる。また、敷地の一部が提供され、府道沿いの歩道を広げ、植樹帯を設けるとのことです。

牧田町などの近隣住民から交通に影響があるのではと心配する声があります。施設に出入りする車両は何台なのか一刻も早く明らかに、近隣だけでなく関係する地域にも説明するべきです



6月議会・福祉企業委員会でのきよた純子の質問の一部を掲載します

保育士配置基準を緩和する条例改正 国の待機児童対策は「質」の低下に

児童福祉施設の運営に関する条例改正で職員のうち、資格を持った保育士が3分の2で良いとされました。保育士が3人以上の配置になるクラスは年齢の低いクラス。保育士3人の場合は0歳児では9人の子どもを、1歳児は18人を見ています。専門性が求められる

と主張。それに対し、市は「まずは有資格者の配置を優先、保育士の確保に取り組み」と答弁しました。国は保育の「量」とともに「質」を確保するべきです。基準緩和して「質」低下につながるこの条例改定に反対しました。

補正予算

民間学童保育への補助について

市が補助をすることで民間の学童保育を利用する場合でも、市の学童保育と同じ保育料6500円になります。

しかし、学童保育の補助申請をしている民間学童保育のうち1箇所は、基本利用料金は35000円です。ホームページをみると、35000円の

利用料金に含まれるものは手作りおやつ代、学習サポート代、日常保育教材費、日常保育クッキング・アートプログラム費、外部講師の体験プログラム費、お誕生日会、季節プログラム費、施設利用料

があります。それらのサービスを受けようとすると6500円の学童保育料に加えて別途料金が発生します。

一般的な学童保育とは違い、夕食、入浴送迎なども提供されています。

待機児童対策とは別に検討を

民間学童保育を利用する人は、色々なサービスを求めて最初から民間を希望していかれます。私は民間の学童

は待機児童対策にはならないと指摘し、届出を受理する判断基準をしっかりとつことを求めました。

母校からのお便り 「保育は人の根っこを育てる仕事」と重視を



私の母校である大阪保育福祉専門学校から定期的に「学校便り」が届きます。保育現場で苦労している実態と保育士の専門性が大切だということがよくわかる文章だったので紹介します。

卒業生からの声として、保育士不足による疲弊が一番で、「忙しすぎると心にゆとりがなくなる」「そんな自分に腹がたって辞めなきゃいけないとも思う」などの声が学校に寄せられていました。

自分が理想とする保育や保育士としての誇りの狭間で心を痛めているのだと感じました。

「保育者は保護者と共に、かけがえの無い乳幼児期、子どもの成長・発達を同じ目線で支える専門



9月議会日程

9月7日(水)	本会議/提案理由説明
9月9日(金)	本会議/質疑
9月13日(火)	文教市民委員会 福祉企業委員会
9月14日(水)	都市環境委員会 総務消防委員会
9月26日(月)	本会議/採決、一般質問
9月27日(火)	本会議/一般質問

ぜひ傍聴をお願いします
※いずれも午前10時開会です。

定例・市政相談会

きよた純子

第3(木)午後2時~4時

第4(土)午後3時~5時

場所:八幡町1-33
TEL:673-0002

場所:川添2-3-12
TEL:692-0144

事前に電話で
ご連絡ください
676-5068